

特別広告企画「住まいと土地を考える」

広告料金 (不動産・土地活用特集特別料金)

①4C2Pタイアップ:
350万円
(通常実施価格:388万円)
※制作費込の企画特別料金

②4C1P純広告+4C1Pタイアップ:
340万円
(通常実施価格:368万円)
※制作費込の企画特別料金

③4C1Pタイアップ:
180万円
(通常実施価格:194万円)
※制作費込の企画特別料金

④4C2P純広告:
328万円

⑤4C1P純広告:
164万円

⑥1C1P純広告:
95万円

※連合広告企画の体裁になりますのでタイアップ広告の誌面デザインは統一させていただきます
※企画巻末には読者アンケート&資料請求連合ハガキをおつけします

※1P広告掲載の際には広告対向になる可能性があります
※広告台割は弊社にて決めさせていただきます

お申込締切日

タイアップ **3月19日(金)**

純広告 **3月26日(金)**

※純広告の原稿は4月16日(金)までに
JMPA準拠データにてご用意をお願いします。

タイアップ広告スケジュール (予定)

3月19日(金)	オリエン
~3月26日(金)	取材・撮影
4月 2日(金)	初校ご提出
4月 9日(金)	初校お戻し
4月14日(水)	色校ご提出
4月16日(金)	色校お戻し→校了
5月10日(月)	発売日

オプション企画

大好評! 文春オンラインセミナー

文藝春秋では毎月様々なテーマでシニアの超富裕層に向けたオンラインセミナーを実施しています。本特集にご出稿いただいた企業様に限り、通常よりもお安いオプション料金にてオンラインセミナーも実施可能です。内容、集客ともにクオリティの高い効果的なウェビナーをご提供できるのは優良な読者層を抱える文藝春秋ならではの、ご要望に応じてお見積りいたしますのでお気軽にお問合せ下さい。(※企業審査がございます)

ウェビナー実施料金 **300万円~**



文藝春秋digital誕生! 質の高いデジタルユーザーへも訴求が可能!

シェアしたくなる数値メディア

文藝春秋digital

2019年11月にクリエイターのためのメディアプラットフォームnote上にて文藝春秋digitalが誕生しました。現在フォロワーは約19,000人(2021年2月現在)。着実に成長を遂げているメディアです。こちらのサイトでも転載可能です。

- 記事と同様のフォーマットにてタイアップ転載
- タイアップ掲載時にはフォロワーにタイムラインでご案内
- 掲載中4回はSNSにて発信 多くの人のシェアを目指します

文藝春秋digitalへのタイアップ転載が **30万円**

f x popln 等、各外部媒体を使用したブーストもお見積りいたします(ご予算100万円~)

話題性 影響力 No.1 文春オンライン

世の中の「ほんとう」がわかります

月間PV:3億6,058万 月間UU:約3,995万
2020年6~8月平均値

「文春オンライン」タイアップ転載料金 本企画限定サービス

文春オンラインへのタイアップ転載が **50万円1万PV想定**
(14日間期間保証/アーカイブ半年間)

- 文春オンライン内 資料請求ページ
- 広告主様問い合わせフォーム
- 広告主様メルマガ登録フォーム
- 広告主様ウェブサイト

など、リンク先は自由に設定いただけます。

月刊 文藝春秋

2021年6月号
(5月10日発売)

「住まいと土地を考える」第2部
不動産・土地活用特集

&
文春オンライン

withコロナ時代の新常識を考える
不動産・土地活用特集

土地オーナー必見! 相続対策にも有効!

金融資産
1億円以上の
読者が
約3万人!

読者の
持家率は
8割以上

不動産・
土地活用を
検討したいと
思っている
読者が
約10万人!

資料請求
連合ハガキ
付き!

文春オンラインでの
資料請求フォームもサービス!

お問い合わせ先 (株)文藝春秋 メディア事業局メディア事業一部
電話: 03-3288-6176 FAX: 03-3239-5481 HP: <https://www.bunshun.co.jp/ads>

株式会社文藝春秋メディア事業局メディア事業一部

ご挨拶

いつも「文藝春秋」にご支援ご協力を賜りありがとうございます。

日本を代表するオピニオン誌「文藝春秋」は多くの皆様に愛読され、発行部数も約40万部を誇る日本でもっとも売れている唯一無二の総合月刊誌です。おかげ様でコロナ禍でも大幅に部数を伸ばしております。

「文藝春秋」の読者は60歳以上の超富裕層が中心。1億円以上の資産をお持ちの方々が約3万人。持ち家率が8割以上で土地オーナーの方々が多く、不動産活用を真剣に検討している方が10万人以上もいらっしゃいます。

2014年より「文藝春秋」では不動産・土地活用特集を実施しておりますが、読者の関心の高いテーマということもあり毎回レスポンスが80～200件と驚くほどの反響をいただいております。

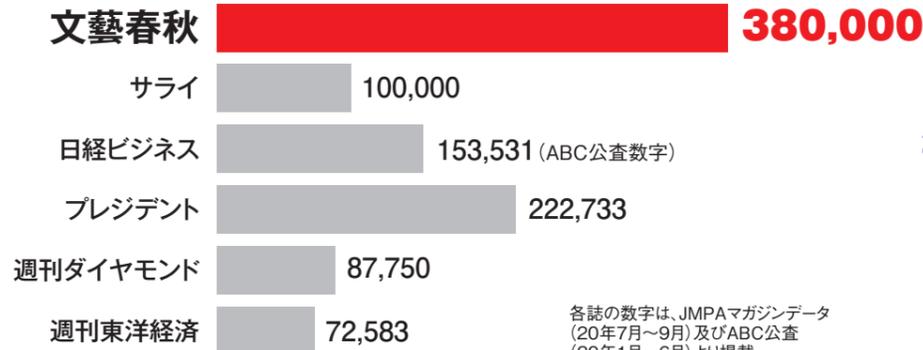
withコロナ時代になり、今までの土地活用の常識が覆っています。不動産価格がこれからどうなるのか予測できず、土地オーナーがあらためて相続対策を見直すきっかけにもなっています。また都市の生産緑地の2022年問題も間近に迫っています。先行き不透明な中、保有している土地や不動産をどんな戦略のもとで活用していくべきなのか、切実な問題と捉えている方々ばかりです。

今回の企画も「文藝春秋」の優良読者に向けた、戦略的な不動産・土地活用の重要性や具体的なノウハウ、節税対策などを訴求できる企画となっております。**ご出稿をきっかけに、読者の方から成約に結びついたという喜びの声も届いております。**ぜひこの機会に貴社の広報活動の一環としてご活用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

文藝春秋について

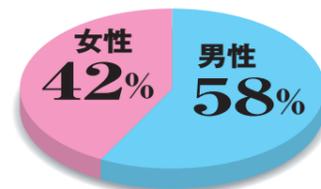
【創刊】大正12年(1923年)1月
 【平均発行部数】
380,000
 (JMPA印刷証明付:20年7月～9月平均)

〈2020年7月～9月までの平均発行部数 JMPA印刷証明付〉



各誌の数字は、JMPAマガジnderデータ(20年7月～9月)及びABC公査(20年1月～6月)より掲載

男女比 読者の男女比は58%:42%。女性読者も多く、夫婦で読まれる雑誌といえるでしょう。



年齢比率 40代以下 23.7% 50～60代以上 76.3%



企画概要

掲載月号 月刊「文藝春秋」2021年6月号(5月10日発売)

企画構成

不動産・土地活用特集 編集ページ3P(扉ページ含)+広告ページ ※3社以上で企画成立となります。
 ☆アンケートページ+資料請求ハガキがつきます(編集ページのページ数は変更になる場合がございます)。
 ☆文春オンライン上でもアンケートの受付をいたします。

想定企業商品

住宅メーカー、不動産会社(販売・仲介)、各金融機関(信託銀行など)、税理士事務所、不動産・土地活用、不動産小口化商品、リバースモーゲージ、マンション・アパート経営、駐車場、レンタルスペース等土地活用、賃貸保証サービス、等価交換、相続コンサルティング、事業承継 など

誌面展開案: 特別広告企画「住まいと土地を考える」

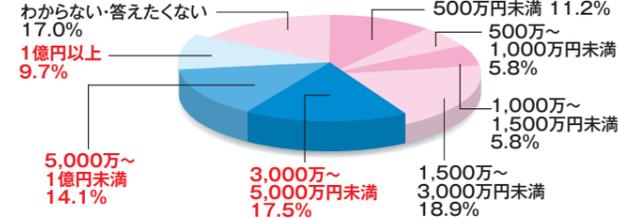


※誌面割は予定です。変更になる場合がございます。

「文藝春秋」読者は多額の金融資産を積極的に運用している 60代以上の土地オーナーの富裕層が中心です

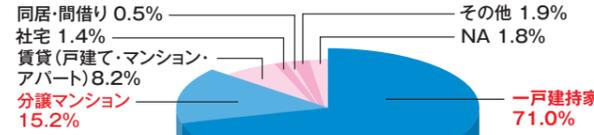
文藝春秋「不動産・土地活用特集」「金融・相続特集」読者アンケート、媒体資料より

資産・投資額



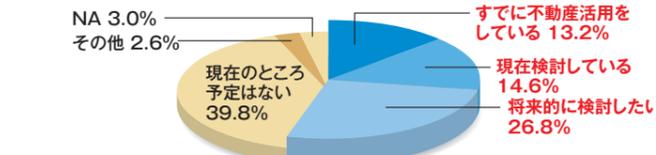
貯蓄額が1億円以上の超富裕層が9.7%(約3万人)。3,000万円以上の富裕層が42%(約13万人)。

今の居住形態



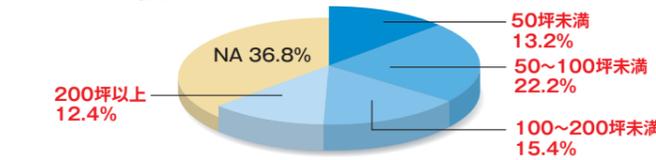
持ち家率は8割以上。

不動産活用を検討されていますか?



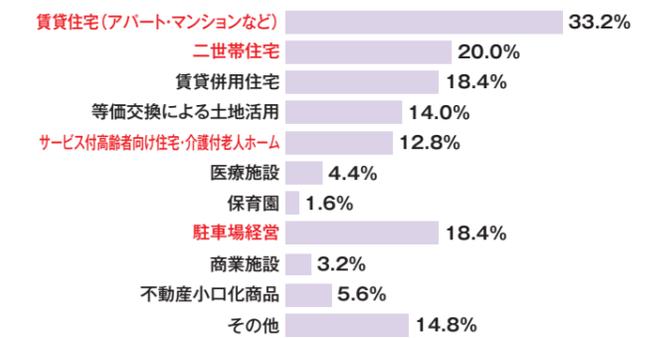
5割以上の方が不動産活用をしている、または検討する意向があります。

不動産・土地活用を検討されている場合、その面積はどれくらいですか?



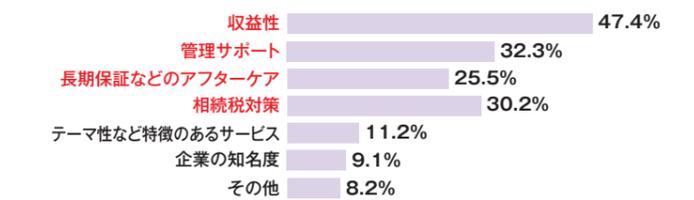
約3割の方が100坪以上の土地をお持ちです。

不動産・土地活用について 関心があるもの



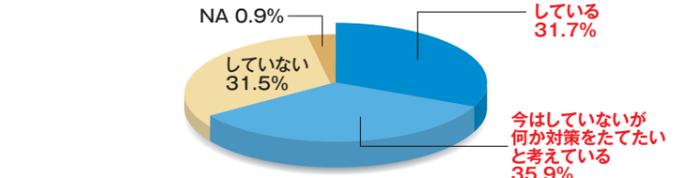
マンション・アパート経営やサ高住、二世帯住宅、駐車場による土地活用に興味を持っています。

不動産活用・投資に関心のある方が重視している点



不動産活用の収益性を重視し相続税対策として考えている方も多数いらっしゃいます。

現在相続に関して、ご自身で知識を得たり相談をしているか



6割以上の方が相続対策をしたり検討をしています。



ハガキとオンラインで「資料請求」を実施します。
読者の感想もすべて資料請求リストに反映させ、個人情報データをお渡しいたします!(潜在的顧客の情報を確実にお渡しします!)
 毎回読者からの多くのご感想・反響をいただいている大好評の企画です(感想例)

- Withコロナ時代だからこそ、手持ち不動産の今後の有効活用を考えていますがまだ決断できていません(多くの業者と相談中)。「文藝春秋」に掲載されている会社は信用ができるので、安心して相談できます。今後も継続的に情報が欲しいです。
- 先祖代々の土地を守りながらの活用というだけではなく、それが社会貢献につながるという考え方の〇〇〇〇(協賛会社)に大変共感しました。数々の土地活用を検討していますが、私自身もそのように地域のためになる街づくりを考えたいと思っております。
- 不動産小口化商品について、手軽に相続税対策になることもあり非常に魅力に感じています。ぜひ資料等いただき検討したいです。
- 実家の200坪の土地を兄弟6人で相続する場合のことを考えています。長男は150坪の土地をもらっている(まだ父名義)、5人で200坪を分けたいと思っており、売却ではなく土地利用を考えたいと思っています。今回の企画は非常に役に立つ情報だったので、資料をお願いします。

不動産活用・投資の意識の高い読者に向けていち早くアプローチ可能です!
「資料請求ハガキ」1社あたり約80～200件のレスポンス!
 読者からの反響がきっかけで実際の成約に結び付くケースも多数ございます。